

呉工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	哲学		
科目基礎情報								
科目番号	0289			科目区分	一般 / 選択必修			
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電気情報工学科			対象学年	5			
開設期	後期			週時間数	2			
教科書/教材	なし							
担当教員	木原 滋哉,中本 慶彦							
到達目標								
1. 哲学の基本的な問題の理解 2. 哲学の応用的な問題の理解 3. 「知る」「為す」「信じる」ということについての問題に挑戦することを通じた、「哲学する」ことの実践 4. 表現能力と共感能力の涵養								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1	哲学の応用的な問題が理解できる		哲学の基本的な問題が理解できる		哲学の基本的な問題が理解できない			
評価項目2	「哲学する」ことの実践ができる		「哲学する」ことの実践がある程度できる		「哲学する」ことの実践ができない			
評価項目3	表現能力と共感能力を養える		表現能力と共感能力をある程度養える		表現能力と共感能力を養えない			
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)								
教育方法等								
概要	哲学者の思想を学ぶことを通じて、哲学の基礎概念を学ぶとともに、「哲学的に考える」姿勢を学ぶ。他者と共生する上で必要な己の表現能力および共感能力を養う							
授業の進め方・方法	講義およびグループワーク（適宜資料を配布する）							
注意点	哲学は、誰から「教わる」ものでもなく、自ら「考える」ことによって学ぶ学問です。ただ知識を詰め込むのではなく、自ら考えて学ぶ過程そのものが哲学です。時には周りの人と相談しながら、授業中に挙げられた問題について考えてみてください。皆さんが積極的に「哲学する」ことを期待します。							
授業の属性・履修上の区分								
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	哲学について（ガイダンス）			哲学の全般的な概要について理解する		
		2週	議論について（1）			J.S.ミルの思想について理解する		
		3週	議論について（2）			J.S.ミルの思想について理解する		
		4週	考えることと信じることについて（1）			デカルトとパスカルの思想について理解する		
		5週	考えることと信じることについて（2）			デカルトとパスカルの思想について理解する		
		6週	倫理学の基礎（1）			倫理学の基礎について理解する		
		7週	中間試験					
	4thQ	8週	倫理学の基礎（2）			倫理学の基礎について理解する		
		9週	近代社会について（1）			近代社会の特徴と課題について理解する		
		10週	近代社会について（2）			近代社会の特徴と課題について理解する		
		11週	戦争について（1）			戦争に関する思想について理解する		
		12週	戦争について（2）			戦争に関する思想について理解する		
		13週	グループワーク（1）			設定されたテーマに関する思想について理解する		
		14週	グループワーク（2）			設定されたテーマに関する思想について理解する		
		15週	期末試験					
		16週	答案返却・解答説明					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。		3		
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。		3		
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	